

-----11月5日-----

2018年

※ 今週のアウトルック (11/5~11/9)

先週は前半からリバウンド的な動きが主体となり、円安が進みました。

その後、週中では停滞気味となりましたが、金曜日には米国雇用統計の良好な結果を受けて、円安傾向を維持したまま週末を迎えています。

今週はテクニカル的にも円安を示唆する通貨ペアが多くなってきていますが、NYダウなどがまだ、リバウンドの域を出ておらず、不安定な状況にあるため、動き次第では一気にリスクオフムードが広がる可能性も考えておく必要があるように思います。

先週のドル円はNYダウが安値確認後、買い戻しが強くなり一時的に上昇した事などから上昇傾向が強くなってきています。

週末の米国雇用統計も良好な結果で、113円を超えたまま週末を迎えました。

今週は、このまま上昇トレンドを維持して114円近く、あるいは114円越を狙えるかどうかのポイントとなりそうですが、NYダウの動きがまだ不安定な状態にあるため、急落などした場合には、一転してドル売り円買いの動きとなる可能性もあるように思います。

ドル円の予想レンジは111.5円から114.5円です。

ユーロ円は先週、127円台で底値を確認した形となり、テクニカル的には上昇トレンド入りした形となっています。

今週は130円を超えられれば、本格的な上昇トレンド入りする可能性は高そうです。ただ、NYダウの動き次第という所もあるので、上昇トレンド入りと決めつけることは避けた方が良いでしょう。

ユーロ円の予想レンジは126円から131円です。

ポンド円は143円付近で、何とか底値確認という状況になったようです。

木曜日には急反発して146円台まで戻し、そのまま週末を迎えています。

今週、テクニカル的には上昇トレンド入りしているようですが、NYダウと他の通貨ペアの状況次第では、再び下落トレンド入りする可能性も考慮しておいた方が良さそうです。

ポンド円の予想レンジは143円から149円です。

テクニカル的にはドル高、円安を示唆しているのでNYダウに大きな動きがなければ、このまま円安ドル高継続の可能性が強くなりますが、市場のセンチメント的には楽観的なムードとは言い難いため、十分な注意が必要です。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。